

個別注記表

自 2012年 4月 1日 至 2013年 3月 31日

(当期累計期間)

OBC商事株式会社

1. 重要な会計方針

(1) 資本の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売価原価は移動平均法により算定しています。）

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法 ただし、原材料は最終仕入原価法
(会計方針の変更)

従来商品については最終仕入原価法による原価法を採用していましたが、当期から総平均法による原価法に変更しました。この変更による影響は軽微です。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

法人税法の規定による定額法、ただし、機械及び装置は定率法

無形固定資産

法人税法の規定による定額法

(3) 引当金の計上

貸倒引当金

債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。

(特則を適用している場合)

なお、未償却の適用時差異残高は、〇〇〇千円（残存償却年数〇年）

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転する者以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 重要な後発事象に関する注記

平成〇年〇月〇日開催の取締役会において、〇〇〇を決議いたしました。
これによる影響額は、〇〇〇千円であります。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済み株式の数 〇〇〇〇株

(2) 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項